事例No.	2050
公表年度	R4
団体の属性	特別区
団体名	東京都豊島区

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	子育て

事例内容・タイトル

保育施設におけるセンサー付き計測機器の試験導入

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

70 保育施設におけるセンサー付き計測機器の試験導入【東京都豊島区】

事業の概要

【背景】

- 保育施設における事故は残念ながら毎年発生しており、睡眠中はリスクも高くなる。
- 睡眠中、保育士による午睡チェックは監査項目にもなっている等、保育士の物理的・心理的負担も大きい。

➢ 上記のような背景から、午睡（お昼寝）時の園児の様子を見守ることができるシステム（午睡センサー・アプリ）を区立保育園に導入する。これにより、センサーと保育士による目視のダブルチェックを行うことによって、保育士の物理的・心理的負担の軽減に繋げる。

➢ 当システムでは、園児の肌着等に取り付けたセンサーが体動を検知する。そして、体の向きを専用アプリがチェック表に自動記録。また、異常時にはアプリがアラートで知らせる。



提供：ユニファ株式会社
※午睡センサーは、乳幼児突然死症候群の予防や、睡眠障害の病気の評価に用いる機器ではありません。

➢ 令和３年度に２園でモデル実施し、効果検証したうえで翌年度以降他の園にも拡大する。

【参考情報】 人口：28.6万人
関連URL： ー

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



以前から午睡時における保育士の物理的・心理的負担が大きいことは課題とされていました。保育の質の向上を目指す中で、午睡中の手書き業務をなくしたり、ICTの活用により見守りの質を高めることが可能になると判断し、モデル実施に至りました。

（豊島区）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



私立の保育施設等に対する補助制度はありますが、残念ながら本自治体に対する補助制度はないのが現状です。



事業の近況を教えてください。



令和4年2月から2園でモデル実施を開始しました。現在はその効果検証とその後の拡大に向けたスケジュールや事業者との調整を行っています。

★担当：豊島区子ども家庭部 保育課★

令和3年度事業費 1,846千円